



613-001623 Rev.A 110909

最初にお読みください



---

---

---

---

---

# AT-VNC10S リリースノート

---

この度は、AT-VNC10Sをお買いあげいただき、誠にありがとうございました。このリリースノートは、付属の取扱説明書に記載されていない内容や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。最初はこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

---

## 1 Windows 2008 R2 Hyper-V 用 ドライバーインストーラバージョン 14.4.8.4

---

## 2 本バージョンでの制限事項

---

ドライバインストーラバージョン 14.4.8.4 には、以下の制限事項があります。

---

### 2.1 IPv6 アドレスを使用するチームの削除について

IPv6 アドレスを使用するチームを削除し、チームを再作成した後、古いチームの IPv6 アドレスが再作成されたチームに使用されます。この現象を回避するには、システムの [ネットワーク接続] から、チームの TCP/IP プロパティの [全般] タブを表示し、古いアドレスを削除してから新しい IPv6 アドレスを入力するか、IP アドレスを自動的に取得するオプションを選択します。

---

### 2.2 802.3ad チームを含むシステムについて

802.3ad チームを含むシステム上で、システムイベントログに Netlogon サービスの失敗が記録され、起動時にドメインコントローラとの通信ができなくなります。この問題が発生した場合は、Microsoft のサポート技術情報文書 239924 (<http://support.microsoft.com/kb/239924/>) で説明されている、メディア検出機能を無効にする方法が有効です。

---

### 2.3 ポートトラッキングについて

AT-VNC10S の Port trunking Teaming メンバーの最大サポート数は 2 ポートまでです。

---

## 2.4 チームメンバーのドライバーについて

チームメンバーのドライバーが無効な場合に、通有中継（GEC/FEC/802.3ad-Draft Static）で一部のネットワーク接続が失われることがあります。無効なドライバーのアダプターをスイッチから外すと、他のアクティブなチームメンバーに対してトラフィックが再開されます。チームメンバーが ASF/IPMI/UMP などの基本的な管理ソフトウェア または、Wake-On-LAN をサポートしている場合には、ドライバーが無効でもアダプターのスイッチでリンクを維持できることがあります。この場合、スイッチはトラフィックをアクティブなチームメンバーのポートにルーティングするのではなく、接続されているポートに送り続けます。

---

## 2.5 LSO、CO について

チームを組んだポートのうち、1ポートでも LSO（Large Send Offload:大量送信オフロード）もしくは CO（Checksum Offload:チェックサムオフロード）をサポートしていない場合、そのチームで LSO と CO が機能しません。チームのアダプターのうちいずれか 1つでも LSO をサポートしていない場合は、LSO はそのチームでは機能しません。LSO をサポートしないアダプターをチームから取り除き、LSO をサポートするアダプターと交換してください。CO の場合も同様です。

---

## 2.6 チームメンバーアダプターの詳細設定プロパティの変更について

チームのメンバーであるアダプターの詳細設定プロパティを変更した後、そのチームの詳細設定プロパティが変更されません。チームのメンバーにアダプターが含まれているときに、詳細設定プロパティを変更する場合は、チームを再構築してください。

---

## 2.7 Live link について

Live link が有効に設定されているとき、IPMI が正しく動作しません。IPMI を使用する際は Live link の設定を無効にしてください。

---

## 2.8 フローコントロールについて

フローコントロールが無効に設定されている場合、TOE の性能がパケットロスの影響を受けやすくなります。フローコントロールを有効にしてください。

---

## 2.9 アダプターの取り付けについて

システムによっては、システム起動後に AT-VNC10S アダプターを取り付けた場合、最適なレベルで通信が実行されない場合があります。この場合、AT-VNC10S アダプターを取り付けた後に、システムを再起動してください。

---

## 2.10 DCOM エラーメッセージについて

Broadcom アダプタードライバのインストール中に、システムイベントログに DCOM エラーメッセージ（イベント ID 10016）が表示されます。これは Microsoft 側の問題です。詳細については、Microsoft のサポート技術情報文書 KB913119 (<http://support.microsoft.com/kb/913119>) を参照してください。

---

## 2.11 iSCSI オフロードについて

iSCSI オフロードを介して iSCSI ターゲットに Windows サーバー 2008 をリモートインストールしようとする、インストールが完了しません。これは Microsoft 側の問題です。Microsoft ホットフィックスの適用の詳細については、Microsoft のサポート技術情報文書 KB952942 (<http://support.microsoft.com/kb/952942>) を参照してください。

---

## 2.12 SNP のアンインストールについて

SNP をアンインストールすると、BACS 3 の [Resource Reservations] で設定ができなくなりますので、SNP のアンインストールは行わないでください。システムから SNP をアンインストールする場合、[Configurations] タブの [Resource Reservations] タブから表示できる [Pre-Allocated Resources] 画面で、NDIS を有効にするチェックボックスが選択されていることを確認してください。NDIS が無効の状態では SNP を削除すると、デバイスにアクセスして再び有効にすることができなくなります。

---

## 2.13 NLB 対応 NetXtreme II アダプターについて

NLB 対応 NetXtreme II アダプターをチームに追加すると、予期しない結果が起こることがあります。チームを作成する前に、NetXtreme II アダプターから NLB をアンバインドし、チームを作成してから NLB をチームにバインドしてください。

---

## 2.14 RSS が有効なアダプターについて

チーム内に RSS (Receive Side Scaling : レシーブサイドスケーリング) を Enable にしたアダプターが存在するとエラーが発生します。RSS を Disable にし、再度チームを作成してください。

---

## 2.15 Jumbo Packet プロパティについて

[Jumbo Packet] プロパティを 5000 バイト以上に設定し、リンク速度 10Gbps をサポートするネットワークアダプターで [Flow Control] を強制すると、最大パフォーマンスが低下します。[Jumbo Packet] が 5000 バイト以上に設定されている場合、[Flow Control] を [Auto] に設定してください。